

仕様は？性能は？コストは？

ひと目で分かる

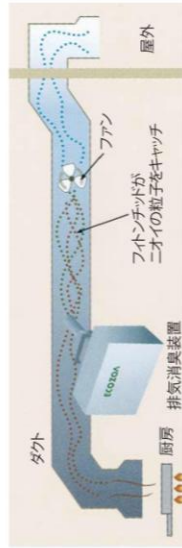
「脱臭装置」

選択ガイド

2004

コンノルコーポレーション株式会社 「エコゾア排気消臭装置」

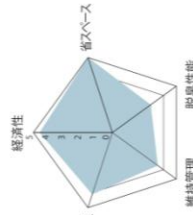
【概略フロー】



装置外観



【評価チャート】



【適用可能業種】(※最過業種)

- 飲食店*
- FRP製品製造工場
- 機械製造工場
- 下水処理場
- 廃棄物処理施設 等

■ 装置の概要

排気ダクト中に消臭剤を放出して臭気レベルを下げるシステムである。消臭剤としては植物から抽出した天然植物精油が用いられる。植物精油と臭気を混合すると、混合臭の臭気は弱く感じられることを利用したものである。また、植物精油から発散される、いわゆるフロンチャップが、臭気成分と化学的に反応して臭気レベルを下げることで行っている。

■ 特徴

- 消臭剤は天候成分を使用しており、安全性は高い。ダクト内に火災が入った場合には、タンパーが閉じ、装置内への火災の侵入を防ぐ構造になっている。
- 消臭剤はダクト内の負圧によって放出されるため、エネルギー消費や騒音・振動はない。排水処理も不要である。
- 日常点検は不要であり、基本的に2ヶ月ごとに清掃点検を行う。

■ 総合評価

臭気に気体の消臭剤(植物精油)を接触させて臭気レベルを下げるシステムである。装置自体は消臭剤を格納する箱型容器と消臭剤を投与するためのノズルからなり、これをダクト途中に設置するものである。消臭剤はダクト内の負圧により吸引・投与される。
本装置の特徴は、装置の構造がシンプルかつコンパクトで、薬品や電気等を使用しないことである。したがって、処理風量が少なく消臭剤の使用量が少なければ、安価なシステムになる。なお、本装置にはダスト除去機能はない。また、排気と消臭剤とを十分に混合・接触させるため、装置からダクト出口まである程度の距離が必要と考えられる。
メーカーはさまざまな業種に適用可能としているが、消臭剤はすべての臭気に必ずしも万能ではないため、装置の導入に際して処理する臭気に対する消臭効果を確認することが望ましい。また、ランニングコストに大きく影響する消臭剤使用量を把握することも必要である。メンテナンスとしては消臭剤の交換を怠らないことが重要である。

業種(※最過業種) 臭気 臭気発生指数	飲食店(焼肉店)* 焼肉臭 (34)	飲食店(弁当店) 調理臭 (27)	飲食店(焼鳥店) 焼鳥臭 (32)
主な仕様			
処理風量 (m³/分)	250	50	150
型式名	10-954H 3台	10-954H	10-954H 2台
寸法 W×D×H (mm)	303×120×203/1台		
重量 (kg)	15	5	10
材質	ステンレス(SUS304)		
操作条件 (圧力単位など)	無視できる		
稼働条件 (時間/日、日/月)	14時間/日 30日/月	10時間/日 30日/月	10時間/日 30日/月
電源 (V)	-	-	-
消費電力 (kW)	-	-	-
電気使用量 (kWh/月)	-	-	-
ガス使用量 (m³/月)	-	-	-
水道使用量 (m³/月)	-	-	-
施工性	無視できる		
設置場所	排気ダクト横		
必要スペース W×D×H (mm)	350×450×750	350×450×250	350×450×500
経済性			
インシャルコスト (円) (ファン込み価格)	780,000	170,000	460,000
基本ユニット構成	装置本体:14万円/台×3台 消臭剤:3万円/個×12個	装置本体:14万円/台×1台 消臭剤:3万円/個×1個	装置本体:14万円/台×2台 消臭剤:3万円/個×6個
表示価格	実勢価格		
設置工事費 (円)	120,000	70,000	100,000
ランニングコスト (円/年)	1,440,000	180,000	720,000
消耗品	消臭剤		
脱臭性能	測定業種:焼肉店 臭気濃度:16,000→1,000 脱臭効率:94% メーカー保証値:脱臭効率80~90% 実測値:焼肉店 臭気濃度:2,300→310 脱臭効率:87%		
実測調査結果			
メーカー提示情報			
問い合わせ対応窓口	コノルコーポレーション株式会社 市場開発部 〒102-0082 東京都千代田区一番町10-2 TEL:03-3263-0370 / FAX:03-3288-5444 http://www.consol.co.jp/		